

# がん検診を受けてみよう！

がん検診は、がんによる死亡率を下げる事が出来る確実な方法ですが、男性の胃・肺・大腸がん検診の受診率は40～50%程度、女性は婦人科検診を含めた5つのがんの受診率が35～45%程度で、欧米に比べても低い水準となっています。

一部のがんは早期発見・早期治療が可能になってきています。がん検診を受けてみませんか？

## がん検診の目的

### 目的は、がんによる死亡率を下げること！

- ・無症状での発見
  - 早期発見で治療、進行の予防
  - 死亡リスクを軽減

## 胃がん検診

### 男女とも50歳以上

- ①胃X線検査：バリウム・発泡剤を飲む
- ②胃内視鏡検査：小さな病変も見つけられる  
検診間隔は2年に1回

★胃内視鏡検査(胃カメラ)は病変があったらその場で組織を採取できることも！



## 肺がん検診

### 男女とも40歳以上(①はリスクの高い方が対象)

- ①胸部レントゲン検査と喀痰検査の併用
  - 高リスク = 喫煙指数が高い
  - 50歳以上 & 喫煙本数/日 × 喫煙年数 = 600以上
  - 主に非喫煙者は胸部レントゲン検査のみ

- ②胸部CT検査  
人間ドックなどの個人のリスクを判定するタイプのがん検診で行われる

★「1日1箱×20年」で高リスク！  
弱いタバコに変えてもリスクは減らない！

## 腫瘍マーカーとは？

マーカー	異常値を示すことのあるがん
PSA	前立腺がん(感度が高い)
CEA	各種消化器がん、肺がん、乳がん、卵巣がん
AFP	肝細胞がん、卵巣や精巣の胚細胞がん
CA19-9	すい臓がん、胆嚢・胆管がん、大腸がん
PIVKA-II	肝臓がん(特異性が高い)
CA15-3	乳がん(比較的特異性が高い)

★腫瘍マーカーは、がんがすでに発見され且つその数値が上がった人の経過観察に用いる

→早期発見のためには必ずしも向いていない  
なお、感度が高いPSAは、時に有用と考えられている

## 大腸がん検診

### 男女とも40歳以上

- ①便潜血検査  
便の表面をこすったものを提出して、がんなどからの出血をみる検査
  - ②全大腸内視鏡検査(大腸カメラ)  
精密検査として行うことが多い
- ★便潜血検査→陽性が1回でも出たら、精密検査を受けよう！

